

馬ッコ文化を世界に！ フランスの馬祭りで見学代表として披露 岩手特化型クラウドファンディング「いしわり」活用で資金募る

～岩手伝統の馬事文化を伝え、世界との交流を生む～

若手のネットワークづくりのためのセミナーや、長期実践型インターンシップのコーディネートを手掛ける特定非営利活動法人wiz(所在地:岩手県大船渡市、代表理事:中野圭)が運営する岩手に特化したクラウドファンディング「いしわり」で、2015年5月15日(金)、新たなプロジェクトがスタートしています。

「馬ッコ in フランス！」と題した新たなプロジェクト。遠野市で農林業に従事しながら、馬搬(ばはん)文化と技術の継承・宣伝・普及活動をする岩間敬さんが馬ッコinフランス実行委員会の代表。岩間さんの活動に感銘を受けたフランスのペルシュロン馬祭り実行委員から、この夏のペルシュロン馬祭りへ「チャグチャグ馬コ・馬搬・流鏝馬」が招待されています。

岩間さんは、チャグチャグ馬コ等の岩手の伝統文化を世界へ発信すると同時に、ヨーロッパの馬を活かす文化を学び、岩手に持ち帰る機会としたいと考えています。

今回のクラウドファンディングでは、実際に使用されている本物の伝統的装束や、特殊な大きさと形態の道具一式を岩手からペルシュに往復運送するための費用等として100万円を「いしわり」で募ります。

つきましては、「岩手を盛り上げる新しい仕組み」をぜひ取材していただきたく、ご手配の程、よろしくお願いいたします。

馬、ひと、自然を活かす社会を岩手から。

馬の産地であるペルシュ地方で、毎年開催されているフランス・ペルシュロン馬祭り。今年も8月に開催が予定されている。

「チャグチャグ馬コ」のように、馬に装束を付けて歩く祭りは世界でも類を見ないという。ヨーロッパはもちろん、世界各地から馬好き約4000人が集うペルシュロン馬祭りへの参加によって、岩手の伝統文化に注目が集まりそうだ。

また、代表の岩間さんは、ヨーロッパの馬を活かす文化を学び、岩手に持ち帰る機会としたいと考えている。元々気候・風土がヨーロッパと似ている岩手にヨーロッパの文化を持ち帰ることで、馬・ひと・自然を活かす社会の創造を、岩手から実践していく。

チャグチャグ馬コは祭の担い手高齢化が進み、馬の確保も難しくなっている。参加頭数も100頭から80頭前後へと減少している。海外から伝統文化が再評価されることによって若者の関心を集め、高齢化・担い手不足の課題解決にもつなげたい。



▼プロジェクト名
馬ッコ in フランス！ 岩手からヨーロッパへ、「馬ッコ文化」が凱旋します！

▼協力募集期間
2015年5月15日(金)～7月10日(金)

▼募資金額
1,000,000円

▼サイトURL
<http://ishiwari.iwate.jp/>

▼協力できる金額
2,000円～300,000円

▼リターン(お礼のお返し)
金額に応じて、以下のようなリターンをご用意しています。

- ・お礼のお手紙
 - ・ペルシュロンポストカードセット
 - ・ペルシュロンキーホルダー
 - ・馬乳石鹸(ノルマンディー産、貴重な馬のミルク入り石鹸)
 - ・ペルシュロンTシャツ
 - ・ペルシュロン馬祭りDVD
 - ・ペルシュロン写真集
 - ・馬ッジ(馬が運び出した木材で作った馬型バッジ)
 - ・馬米(うまい:馬の堆肥を使った有機栽培、自然乾燥米)
 - ・馬体験in岩手・遠野
- ※フランス側のペルシュロンアイテム今年度の製作と在庫状況により、内容とお届け時期に変更の可能性があります。

馬ッコinフランス！ 実行委員会代表について

岩間敬 (いわま たかし)

自分の牧場を作るために遠野に戻り、乗用馬の繁殖をしながら、農林業に携わる。20歳頃から馬搬に興味をもち、師匠2人について技術を習得した。現在は、馬搬を残すために活動している。平成23年、イギリス「馬搬技術コンテスト・シングル部門」で優勝。平成24年、岩手競馬、馬事文化賞受賞。同年、欧州選手権シングル部門で7位に入賞。



NPO法人wizとは

wizは「若手のネットワークで岩手を盛り上げる」をビジョンに掲げ、岩手県に関わる若者のネットワーク構築のための勉強会・交流会の運営を行っており、14年5月からのべ400名以上が参加しています。岩手に特化したクラウドファンディング「いしわり」の運営や、IWATE実践型インターンシップのコーディネートを行っており、今後はU・ターン促進に向けた情報発信などの事業を展開予定です。

報道関係お問合せ・取材お申し込み先

NPO法人 wiz(ウィズ) 担当:佐々木 TEL:080-5577-1092
E-Mail: info@npowiz.org HP: <http://npowiz.org/>